

学校トイレ 緊急時対応マニュアル

嘔吐物などの清掃方法(乾式床)

パニックセット

児童・生徒が嘔吐した場合などは、大人による感染症対策を前提とした処置が必要です。日頃から持ち運びしやすいパニックセットを用意しておきましょう。



汚物処理セット(株)ニイタカ

使い捨てマスク・手袋、雑巾、ペーパータオル、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム希釈液



消毒液の作り方

嘔吐物が付着した床を消毒する場合は、濃度0.1%の次亜塩素酸ナトリウム溶液を使用する。塩素系漂白剤を代用して作る場合は、水3Lに対して濃度6%の塩素系漂白剤50mlが目安です。希釈液は保存せずにその都度作りましょう。

(参考) 500mlペットボトルのキャップ1杯=5ml

※厚生労働省「ノロウイルスの感染を広げないために」をもとに作成。

処理手順

- ①換気をする。
- ②使い捨てマスク・手袋を着用する。使い捨てできるエプロンなどがあれば望ましい。
- ③ペーパータオルなどで外側から内側へ嘔吐物を寄せ、ビニール袋に入れる。汚染面を広げないように注意する。
- ④ビニール袋内に消毒液を染み込ませるように加え、口をギュッと結ぶ。
- ⑤嘔吐物が付着した床とその周辺をペーパータオルで覆い、消毒液を染み込ませて拭き取る。
- ⑥拭き取って10分後に水拭きする。
- ⑦手袋は付着した嘔吐物が飛び散らないよう表面を包み込むように裏返して外し、ペーパータオルや雑巾とともにビニール袋に入れ、④と同様に処理する。



災害時のトイレ使用

災害時に既設トイレを使用できるかどうかは、建物の安全確認が取れてからとなります。便器の排水が可能かどうかによって、対応方法は次の二つに分かれます。

携帯トイレ使用方法

排水不可の場合または排水可能かどうかわからない場合は、携帯トイレを使用。



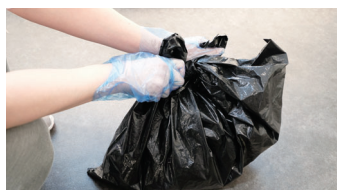
①携帯トイレセット、ゴミ袋、手袋を用意する。



②ゴミ袋をかぶせる。



③携帯トイレをかぶせる。



④凝固剤を入れ、可燃物として廃棄。

バケツによる洗浄方法

排水可能なことを確認できた場合の、バケツによる洗浄方法。



①ポリバケツ、小さいバケツ、ゴミ袋を用意する。



②大きな容器に水をためておく。



③便器の穴の中心に向かって一気に流す。



④ペーパーは流さず別の袋に捨てる。

使用後の手洗い・消毒など衛生管理の徹底が求められます。

